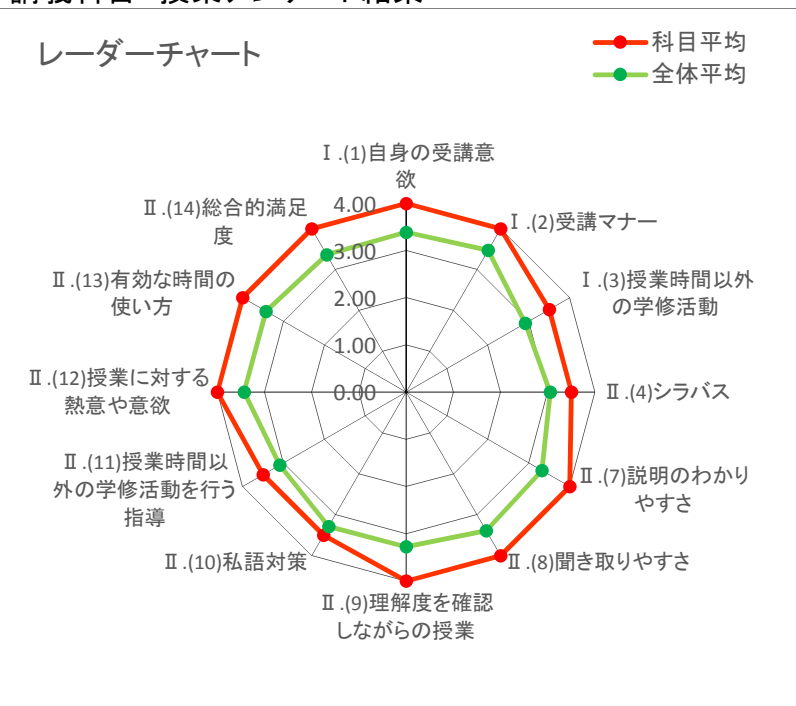
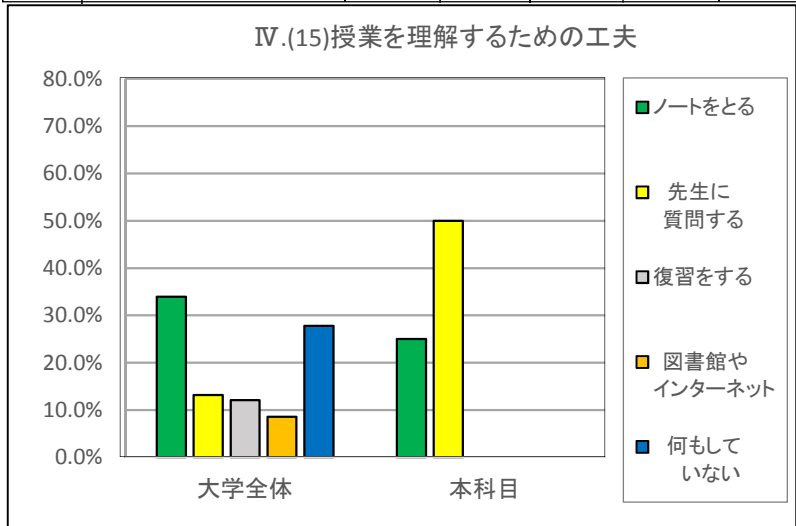


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	24311
科目名	消費者と法律 II
教員名	

①授業計画の達成度について

過半数は民法 I 及び債権法の科目未履修者であったため、民法の基礎を取り入れ、また近時のニュースで取り上げられている消費者問題に関わる内容を取り上げたりしたこと、当初シラバスで記載してあった内容を変更したため、当初の授業計画の達成度は望むべくもないが、履修者に応じた内容という点からすると、アンケート結果からしても、変更した授業計画については達成度はある程度満足度のいくものであったと考える。

②授業の進め方について

過半数は民法 I 及び債権法の科目未履修者であったため、当初シラバスで記載してあった内容を変更し、民法の基礎を取り入れ、また近時のニュースで取り上げられている消費者問題に関わる内容を取り上げたりして、主に履修者の身近でためになる講義を中心とした。履修者にニュースの記事を読ませるなど、講義へ積極的に参加するように心がけた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本科目は、原則として民法 I 及び債権法の科目を既修している者が対象となっているが、過半数は未履修者であったため、民法の基礎を取り入れ、また近時のニュースで取り上げられている消費者問題に関わる内容を取り上げたりして履修者の興味を引いたことがプラスの評価になったと考えられる。次年度以降も履修者の内訳を十分考慮して講義内容を臨機応変にしたいと考える。過分の評価と考えるが、次年度以降もこのような評価になるような講義を目指したいと考える。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	4.00	3.39
	I.(2)	4.00	3.47
	I.(3)	3.50	2.91
受講内容・方法	II.(4)	3.50	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	4.00	3.32
	II.(8)	4.00	3.39
	II.(9)	4.00	3.27
	II.(10)	3.50	3.28
	II.(11)	3.50	3.09
	II.(12)	4.00	3.43
	II.(13)	4.00	3.43
満足度	II.(14)	4.00	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.83	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.81	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	4.00	3.36